



大阪・関西万博で賑わう
大阪へ！

◆9月17日（水）～23日（火・祝）
あべのハルカス近鉄本店北海道ウィ
ンフェア・市町村フェアに、登別洞
爺広域観光圏協議会にて参加しまし
た。室蘭、壮瞥、登別市役所と白老
観光協会の職員が代表し、西胆振の
PRと物販を行いました。ブースが
北海道とさんこプラザあべのハルカ
ス店前のため、北海道ファンのお客
様が多く、大変興味を持って頂けま
した。中でも白老の商品は前半で売
り切れるものもあり大人気でした。
◆9月30日（火）～10月6日（月）
阪神阪急百貨店秋の北海道物産大会
に登別白老連絡協議会の取り組みの
一環で、登別市役所、白老町役場、
白老観光協会の職員の計5名で参加
しました。割り当てられた販売ス
ペースの周囲は有名菓子メーカーに
囲まれ、来場するたくさんの方の波
にのまれながら販売しました。会場
全体であまり取り扱われていなかっ
た珍珠系は中でも人気がありました。

令和7年のウポポイPR事業は、
大阪と広島で実施されました。【大
阪・なんばシティガレリアコート】
9月27日、28日【広島・紙屋町シヤレ
オ】11月1日、2日
白老観光PRやウポポイの魅力を伝
えるためのイベントでは、白老町の
パンフレット配布やノベルティの配
布、アイヌ工芸品や白老町特産品の
販売が行われました。また、ウポポ
イや白老アイヌ協会によるアイヌ民
族の歌や踊り、楽器演奏、アイヌ文
様刺繍体験、アイヌ民族衣装試着な
どの機会が提供され、多くの方が楽
しんでいる様子でした。PR活動を
通じて、現地の方が白老町の自然や
文化、地域の特色に触れる機会が増
え、白老の魅力を体験する場となり
ました。また、体験活動の参加者の
中には「これまで知らなかった白老
町の側面を知ることができた」、
「アイヌの文化に興味があるので
行ってみたい」と感想を述べる方も
おり、白老の関心が高まったことが
伺えました。特に、中でも広島は初
めてPRを実施しましたが、体験や
販売を通して、会全体が盛況になっ
ていました。



ウポポイPR事業
in大坂／広島



ハッピーゴールデンウィーク
白老クイズラリー 第二弾

令和7年4月26日（土）～令和7年
5月6日（火）に、【ハッピーゴール
デンウィーク 白老クイズラリー】が
開催されました。昨年に引き続き白
老エリアと虎杖浜エリアをクイズの
答えを探しながら巡るこの企画は、
特に親子連れの参加が多く、たくさ
んの子供たちに喜ばれました。クイ
ズ以外に、道中でゴミを拾い集める
ことで商品の抽選ができるので、楽
しみながら町の美化と清掃活動への
意識を高める効果にも繋がりました。

令和7年8月より当協会業務課物
販担当として就任しました。
白老町虎杖浜の出身で49さいです。
前職は白老虎杖浜海鮮工房カネモ
リ森川水産で水産物の加工製造、販
売の仕事をしておりました。
ポロトミンタラでは白老の特色を
活かしたモノやヒトの商品や空間を
提供していきたいです。趣味は園芸、
音楽・動画鑑賞で、身体は頭から洗
い、靴は右足から履きます。最近
は運動不足で激しい動きをするとハ
アするので、体力アップしたいで
す。

業務課業務係長兼
物販リーダー
森川 忠



ポロト湖 ワカサギ釣り 2026



白老町の冬のアクティビティと言えば、毎年ポロト湖で実施される『ワカサギ釣り』です！
エサの販売の他にテント・釣り竿のレンタルもできるので、手ぶらでOKです！初心者の方やお子様も楽しめますよ！
今年も氷の状態を見ながら実施準備を行っていきますが、昨年は1月10日からスタートできましたので、今年も早めにスタートできればいいなあっております。
ワカサギ釣りの情報（解禁日など）は、白老観光協会のHPやFacebook、InstagramなどのSNSで発信していきます！

【遊魚良】		【レンタル用品】※数量限定	
一日券		・ワカサギ用テント（チェア3脚付）	
大人	800円	1日1,500円	※土・日・祝のみ貸出（予約可）
子供	400円	・ワカサギ釣りセット（貸し竿）	
シーズン券		1日1,200円	
大人	5,000円	・ワカサギ用チェア1脚	
子供	2,500円	1日300円	

【売店】釣り竿セット、エサ、仕掛け

- 游漁期間：1月上旬～3月上旬
※但し氷の状態により変更
- 営業時間 早朝～日没
- ※管理人は8～16時常駐（不在時有）
- 游漁区域：指定あり



会長挨拶

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、令和八年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。
また、日頃より当協会の事業運営に対し、格別なるご理解とご協力を賜り、役職員一同心からお礼を申し上げます。
さて、昨年は、10月13日に閉幕した大阪・関西万博も成功裏に終了し、インバウンドにおける国内需要はさらに急速に伸び、訪日外国人旅行者数は、前年度を大きく上回り、昨年1月から11月までで過去最速で約3,906万人を達成いたしました。また、訪日外国人旅行消費額も累計で約6.9兆円といずれも過去最高のペースで推移しております。観光は、地方創生と成長戦略の柱として位置付けられており、インバウンド需要の取り込みなど交流人口を拡大させ、地域を活性化する原動力となる重要な産業であり、主体的に担うDMOに対する位置付けは大きいと考えられます。しかしながら、インバウンド市場におきましては、様々な要素の影響を受けることから、その動向を注視しながら依存することなく、適切かつ戦略的に対応していかなければなりません。
当協会において昨年は、多くの皆様から白老町の観光振興に対し、温かいご支援とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。国内外の観光需要が着実に回復するなか、アイヌ文化をはじめとした白老ならではの歴史、文化、自然、食といった地域資源の魅力が、改めて多くのお客様に評価される一年となりました。引き続き、各収益事業の安定した財源の確保及び経営改善努力を勢力的に押し進めて参りたいと存じます。
また、地域DMOとしての観光地域づくり法人の登録制度に関する改正ガイドラインが施行され、持続可能な観光地域づくりを戦略的に実践する質の高いDMOの形成を目的とした登録制度となり、観光地経営戦略策定や実行計画・財源計画等の策定の義務化が求められます。引き続き、国が戦略策定したウポポイ誘客促進戦略の施策を踏まえ、ウポポイ・白老町・観光協会等の関係機関がさらに連携強化を図りながら、まちの将来を見据えた観光振興に関する会議体を設置し、一大イベント等の創出など議論を進めるとともに、道内をはじめとする国内外における戦略的な誘客プロモーション活動の継続も必要不可欠であると考えます。また、昨年はウポポイ（民族共生象徴空間）も5周年を迎え、さらに相乗効果を高めるためにも、商業施設であるポロトミンタラ（白老駅北観光商業ゾーン）を核とした賑わいの創出を目指した事業運営や持続可能な情報発信等が求められます。
本年も当協会では、観光を地域経済の力強い柱とするため、関係団体・事業者の皆様と連携し、来訪者の満足度向上と地域の活性化に取り組んでまいります。
また、地域の皆様に誇りを持っていただける観光地づくりを進めるべく、安心・安全な受入環境整備をはじめ、白老ならではの文化や自然の価値を未来へ継承していくよう努力してまいります。
結びに、本年が皆様にとりまして健やかで実り多い飛躍する一年となりますよう、心よりお祈り申し上げますとともに、引き続き当協会の活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新春のご挨拶といたします。

一般社団法人 白老観光協会
会長 福田 茂穂



夜の時間帯にはウポポイの園内でスカイランタン体験会も実施され、こちらは子供も大人も幻想的な風景を楽しんでいるようでした。



ポロトミンタラ
フェスティバル